

# ULTRA

40年の時を経て復活した  
フランスの名門ウルトラ

photograph\_TAKAYUKI MIZUHASHI / text\_DAISUKE HORIUCHI (TIME Gear)



## History



1949年にフランスのドーで設立されたウルトラは、独自にムーブメントの製造ラインを有し、マニファクチュールとして、国内で確固たる地位を築いていった



1950年代後半には、当時のフランス大統領であったシャルル・ド・ゴールが愛用したことで知られる、「シトロエン・DS」にも、ウルトラ社製のカークロックが採用された

## スーパーオートマテック

ウルトラが旺盛を極めた1950年代当時の時計デザインを細部まで再現した自動巻きモデル。ドーム形風防や縁を付けたデイト表示、文字盤に入った石数表記“21 JEWELS”など、ウィンテージ感たっぷりの秀逸なディテールが光る。また高品質なミラネーゼプレス仕様も同価格で展開されるなど、コストパフォーマンスの高さも魅力だ。

■(右) Ref.US112BW。(中) Ref.US122JR。(左) Ref.US131SM。ステンレススチールケース、レザーストラップ (US131SMはミラネーゼプレス)。ケース径38mm、10m防水。自動巻き (Cal.Ultra803、セイコーベース)。各7万3440円

## フランス初の自動巻きモデルを忠実に再現

1949年にヒエール・マイヤデによって設立され、フレンチマニファクチュールとして旺盛を極めた時計メーカー、ウルトラ。

フランスで初となる自動巻き腕時計「スーパーオートマテック」を発表するなど、かつては同国の時計産業を牽引する存在であったウルトラだが、不景気の影響もあって69年には一度ブランドが消滅してしまふ。しかし、40年の時を経て、モルトリの時計職人とフランス人起業家による取り組みによってウルトラは象徴的なブランドとして現代に復活。ウ

ルトラがいかに多くの人に愛された国民的なブランドであったかをうかがい知ることができる。

新生ウルトラがラインナップの主軸としているのは、先のスーパーオートマテックを細部まで忠実に再現したトリビュートモデルである。

外周に傾斜を付けた、ボンベダイアルの形状に合わせて、3・6・9・12時のバーインデックスもカーブさせ奥行き感をプラスした文字盤。独特の柔らかい質感を再現するため当時と同じヘサライトを用いたドーム形風防など、その作りは細部まで凝っており、まるでデッドストックのアンティークウォッチのような雰囲気を醸し出している。

## Variation



Ref.US172ER



Ref.US222HR

●商品に関するお問い合わせは、ウルトラ直営店(大丸 東京店 7F ☎ 03-6895-2342 / 新宿マルイ メン 8F ☎ 03-6709-8797 / ユーロパッション名古屋 ☎ 052-249-5230 / ユーロパッション大丸梅田店 11F ☎ 06-6347-3510 / エルサカエ金澤本店 ☎ 076-216-8888) / <http://europassion.co.jp/ultra/> まで